

# 慈明院寺報七月号

## 灯籠の功德



帰命頂礼地藏尊 清き流れに舟浮べ  
亡き父母や精霊の 頓成菩提を回向する  
百味の飯果を施して 修する善根功德には  
華の台に招かれて 永久かけて救わるる  
色とりどりのお灯籠 歡喜の光明照らしつつ  
地蔵菩薩に導かれ 極楽浄土へ往き給う  
尊い供養勤めなん

灯籠を点して供養をする施餓鬼法会は、夏の  
仏教行事として、日本のお寺では広く行われている。三界万霊（全ての生き物  
の霊）に供養を捧げて、家族やご先祖様の平穩無事を祈るという法会である。

写真は当院の施餓鬼法会で本堂に飾られた灯籠である。灯籠は盆提灯とも  
呼ばれ、日本のお盆行事を代表する風物詩である。その昔、お釈迦様が  
盂蘭盆会（夏の先祖供養）に出てきた蛇を追ひ払うために、灯火を用意させ  
火に夏虫が飛び込んで死なないように、薄布で灯火を覆わせたという故事に  
由来するという。盆提灯は先祖の霊がお盆に帰ってくる目印となり、先祖の  
魂を導く灯台のような存在とされている。

写真の下のお歌は「施餓鬼精霊供養和讃」という御詠歌の歌詞である。毎年  
施餓鬼法会に手伝いに来て頂いた数人の僧侶と、この御詠歌を唱え三界万霊の  
供養をさせて頂いている。この施餓鬼法会は夕方に行われ、太陽を浴びては  
生きていけない餓鬼や地獄の霊も救うという作法から、陽が沈んでから拝む  
のである。今年ではできる範囲で施餓鬼法会を勤めたいと思う。 住職 合掌

## お施餓鬼 灯籠供養法会のご案内（別紙参照）

来る令和三年 七月三十一日（土曜日）夕方七時より

\*紙灯籠に亡くなった仏様の戒名や、先祖供養を謹書して灯籠に火を点し  
夕闇の中、数人の僧侶で読経してご供養を勤めます。どなたでもご参拝  
頂けます。（マスク着用でご参拝賜ります様、お願い申し上げます。）

\*ご供養をお申し込み頂いた紙灯籠は、お盆（八月十五日）まで本堂に  
安置してご供養致します。またお盆の灯りとしてお持ち帰り頂いても  
構いません。法会終了後、希望される方は灯籠をお渡しします。

## お盆のお参りについて

各檀家様には、七月中旬に「お盆参りのお知らせ」をお送りさせて頂きます。  
お忙しい時期とは存じますが、宜しくお願い申し上げます。随時、お参りに  
ついてのお問い合わせ、変更等承ります。 住職 九拝

## 住職のひとりごと

コロナ禍二度目の夏、様々な不自由があると思いますが、まずは健康第一。  
皆様自愛下さい。熱中症にもお気をつけて・・・暑中お見舞い申し上げます。



慈明院（〒八一一一三三 福岡市早良区大字西二三四一〇）  
TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五  
住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四